

新井南小学校区には、山の斜面に階段状に広がる「棚田」がたくさん見られます。私たちは、水原地区の「棚田」をテーマに学校周辺の平田と比較しながら、棚田での米作りを体験しました。

○「棚田」の様子 命をはぐくむ場所

- ・ 1年中、田んぼには水が入ったままです。これを「天水田」といいます。
- ・ 「天水田」からは、たくさんの生き物を見つけることができました。  
(クロメダカ・ドジョウ・タイコウチ・コオイムシ・マツモムシなど)
- ・ 荒れた田んぼも、見られました。

○「棚田」での米づくり

- ・ 田んぼが小さく、大型機械が使いません。
- ・ あぜの雑草に除草剤をしません。
- ・ 山のわき水を利用して、米作りをしています。
- ・ 稲刈りのときも水が入ったままです。
- ・ たいへんおいしいお米です。  
(近くの大滝荘でも人気があります。)
- ・ 「棚田」での米づくりは大変な作業の連続でした。  
お年寄りが、この「棚田」を守っているのです。



4月の「天水田」

棚田は、米だけではなく、

いろいろな生き物の命をはぐくむ場所なのです。

## 棚田の米作りクイズ

1 棚田では、あぜの雑草に除草剤が使いません。  
なぜでしょう。

- ① ホタルが死んでしまうから
- ② 稲まで枯れてしまうから
- ③ 田んぼの水がもれるから

2 稲刈り後、水原では、あちこちで米をほしている  
風景が見られます。(右の写真→)  
これをなんといいでしょう。

- ① はさがけ
- ② いねがけ
- ③ かさがけ

